

令和3年度 第3回「森は海の恋人」水の循環研究会 議事録（概要）

日時：令和4年2月16日（水）午前10時から12時

場所：WEB会議（県庁別館20階第1会議室A）

1 開 会

2 議 事

(1) 成果品報告書（案）について

質 疑

（委員）

- ・ 春季・夏季等の記載について、具体的な対象期間を記載すると良い。

（事務局）

- ・ そのように対応する。

（委員）

- ・ 春季ブルームには、湾岸水よりも湾内の鉛直混合が大きく関係する。湾岸水の影響と、湾内の鉛直混合の影響を分けて検証するべきである。

（事務局）

- ・ 湾岸水の扱いについて表現を見直す。

（委員）

- ・ 栄養塩濃度なしなどの条件を与える期間は、検証対象の1ヶ月間だけか。

（事務局）

- ・ 助走期間含めて1年間分の計算を行っている。

（委員）

- ・ 夏季と冬季では混合層の深さが異なるため、その旨を記載するべきである。

（事務局）

- ・ 表現を見直す。

（委員）

- ・ 各1ヶ月間を抽出するのではなく、四季別に区分した各4ヶ月間の積算値または平均値にすると良い。

（事務局）

- ・ 季節の設定期間について整理し、分かりやすく記載する。

（委員）

- ・ 一次生産量のオーダーが小さいのではないか。

(事務局)

- ・ 東京湾・伊勢湾の値がおおよそ $1\text{gC}/\text{m}^2/\text{day}$ であることから、問題ないと考えている。

(委員)

- ・ 形態別の栄養塩をモデルに組み込む点については最終的にどうなったか。

(事務局)

- ・ モデルにおける扱いについて付録に記載している。陸域から全窒素・全リンの値を受け取り、河口域における観測値から形態別に分画している。SS は別途計算しているので、その結果に基づいて調整している。シリカ等の調整については、今後の課題である。

(委員)

- ・ 「栄養塩物質等」と記載されているが、具体的には何を指すか記載してほしい。

(事務局)

- ・ 内容を追記する。

(委員)

- ・ 畑地について果樹園や茶畑などの区分を細かくすると、今後の施策検討に活かしやすい。

(事務局)

- ・ 今後の課題とさせていただく。

(2) シミュレーションモデルの活用について

質 疑

(委員)

- ・ 施策の方向性について、「森林を健全に保つ」とあるが、具体的には色々な方法があるため、詳細な検討が必要である。

(事務局)

- ・ 今後より具体的な検討を行う。

(委員)

- ・ モデル以外の内容（現地調査等）も踏まえてとりまとめると良い。

(事務局)

- ・ 資料を追加する。

(委員)

- ・ 本研究内容は水産業に活用できるものになっていると思うが、他の問題にも活用できるよう、累積流量等も含めてデータなどを残してほしい。

(事務局)

- ・ 今後の参考にさせていただく。

(委員)

- ・ 他自治体でも分かるように資料・データを残してほしい。

(事務局)

- ・ 今後の参考にさせていただく。

(委員)

- ・ 人間と環境の関係・繋がりについても記載すると良い。

(事務局)

- ・ 今後の参考にさせていただく。

(委員)

- ・ モデル間の受け渡し方法や、初期条件・境界条件等の記載が必要である。

(事務局)

- ・ 内容を追記する。